

【取組内容④】協働的で積極的な教員研修

・1人1台端末、複線型授業を進める上での教師の役割と授業の進め方？NO1

できることから少しずつ

一歩踏み出すことで出てきた疑問を考える。～大久保先生を招いて～



教師の心構え

- ①1時間の内、全てが複線型ではない。一斉で確認すべきことは確認する。（複線型の授業にチャレンジして初めて、一斉で押さえないといけないところが見えてくる。）
- ②学習を子どもたちに任せてみて、「ここでつまづくのか！」「意外とできる！」などの発見をする。それによって、「一斉で押さえるところ。」「子どもに任せるところ。」といった教材研究の仕方が違ってくる。（これは一斉授業のままだと気付けない。）